

2020年3月24日

資産運用高度化に向けた組織態勢強化

～ ESGリサーチ機能およびオルタナティブ・実物資産投資態勢の強化～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、更なる資産運用高度化に向けた取組みの一環として、資産運用部門の組織態勢の強化を行いましたのでお知らせします。

今回の主な態勢強化は以下の通りです。

① ESGリサーチ機能の強化に向けた ESGアナリストの設置

責任投資推進部にESGアナリストを新設し、3部署で連携した資産横断的なESGリサーチ機能を強化しました。当社は引き続き、日本全国の約1,000万名の保険契約者からお預かりした約36兆円の資金を幅広い資産で運用する「ユニバーサル・オーナー」として、ESG投資を積極的に推進していきます。



② オルタナティブ・実物資産投資の強化に向けた組織再編

オルタナティブ投資部にリアルアセットファンド課を新設しました。今後、更なる資産分散の強化と低金利下での収益力強化を目指し、オルタナティブ・実物資産への投資を拡大していきます。



当社は、低金利環境下における収益力向上に向けて、引き続き運用手法の高度化・多様化による資産運用の高度化に積極的に取り組んでいきます。